

第56号

本願寺西山別院報

久遠

-QUON-

〒615-8107
京都市西京区川島北裏町
29番地
Tel:075-392-7939
Fax:075-394-4416
e-mail: nishiyamabetsuin@
msa.biglobe.ne.jp



本願寺西山別院 ホームページ

西山別院の
「あんな情報」「こんな情報」
発信しています！



ホームページ



Instagram

本願寺西山別院 輪番
得度習礼所・教師教修所 所長
西山幼稚園 園長



中原 敬恵

天上天下唯我独尊

四月八日は「はなまつり」、お釈迦さまのお誕生日です。

今から約二五〇年前、カピラ城の王様の奥様であったマヤーさまは、白い象が胎内に入る夢を見られました。やがて、ご懐妊されたマヤーさまは、出産のためにお里へ戻る途中、ルンビニーの花園で産気づき、王子さまがご誕生になりました。後のお釈迦さまのご誕生です。王子さまは、生まれてすぐに七歩あゆまれて、右手で天を、左手で地を指さし、「天上天下唯我独尊（天にも地にもわたってただ独り尊し）」と言われたと伝えられています。またその時、龍によつ

て清らかな甘露水がそそがれたといひます。

その故実に基づいて、花まつりでは白い象と行進をしたり、生まれたてのお釈迦さまの像に甘茶をかけてお祝いをします。

西山幼稚園でも、花まつりでは、子どもたちがお花を供えて、甘茶をかけてお祝いをします。

「天上天下唯我独尊」というのは、天にも地にも私といういのちはひとつしかない、私だけではないすべての人のいのちはひとつしかない、その一つ一つが尊く、意味があつて生まれてきたのであるという、お釈迦さまの教えです。お互いがお互いを尊重し、慈しみ合うことの大切さを私たちに伝える言葉なのです。世界中の人が、そんな思いをもって人と接していたら、小さな喧嘩も、大きな争いも起こらないのではないのでしょうか。それがなかなかできないのが、凡夫である私たち人間なのでしょう。人々が争うときは、「自分は正しい」と信じ



切って、「相手が間違っている」と思うところから始まるように思ひます。もちろん相手も「自分は正しい」と思っているのです。諍い（いさか）がおこるのです。どちらかが、相手の意見を聞いて「そうだね」と相槌がうてれば、争いはおこらないのですがなかなかそうはいきません。

人間は欲望にとらわれ、自分に都合のいいように物事を解釈して生きてしまいがちです。自分がいつも正しいわけではない、ともすれば間違いを犯す凡夫なのだと思ふことが、相手の意見をききいれるきっかけになるのではないのでしょうか。自分の生き方と同じぐらい相手の生き方を尊重すること、これが唯我独尊の考えだと思ふのです。

自分を無くし、人の意見ばかりを聞いて日々を過ごすわけにはいきませんが、時に柔軟に考え、時に立ち止まって自分を見直す時間を持ちながら歩みを進めていきたいと思います。

新年度が始まります。本年度も、門信徒の皆様、有縁の皆様、近隣の皆様と親しんでいただける別院を目指し、お念仏のみ教えを一人でも多くの方にお伝え出来るよう職員一同努力してまいります。



私たちのちかい

一、自分の殻に閉じこもることなく

穏やかな顔と優しい言葉を大切にします

微笑み語りかける仏さまのように

一、むさぼり、いかり、おろかさに流されず

しなやかな心と振る舞いを心がけます

心安らかな仏さまのように

一、自分だけを大事にすることなく

人と喜びや悲しみを分かち合います

慈悲に満ちみちた仏さまのように

一、生かされていることに気づき

日々に精一杯つとめます

人びとの救いに尽くす仏さまのように

覚祖会のお知らせ



四月二十二日(火)、二十三日(水)の二日間にわたり、西山別院開基で本願寺第三代覚如上人の御命日法要「覚祖会」を修行いたします。当別院は、平安時代、桓武天皇の発願により伝教大師最澄が創建した久遠寺にはじまります。やがて廃れ長らく荒れていた模様ですが、

一三二四(正和三)年に覚如上人が「念仏の道場」として復興されました。境内の北方西側には上人の御廟所(お墓所)があり、上人ゆかりの地として多くのご門徒より護持されてきました。「覚祖会」は、上人のご遺徳を讃える大切な法要です、皆さま、お誘いあわせのうえ、お参りください。

日時: **4月22日(火)**
速夜法要/午後 2時から
【法要後 法話】
初夜法要/午後 4時から
【法要後 法話】
4月23日(水)
晨朝法要/午前 7時から
【法要後 法話】
日中法要/午前10時から
【法要後 法話】

場所: 本願寺西山別院本堂
講師: 本願寺派布教使
つかもと かずまろ
塚本 一真 師
(佐賀教区 三根組 徳常寺)
講題: 「本願寺聖人の仰せ」

4月23日の日中法要終了後にお齋(食事)の接待を対面所にてご用意しております。 予約不要

※日中法要へ参拝された方に限らせていただきます。

境内清掃と

お磨きの

ご案内

時間内であれば、いつ来られても帰られても、短時間でもかまいませんので、是非ご参加ください。

境内清掃(協力)のお願い



日時: **4月14日(月)**
9時30分~12時まで
場所: 書院並びに
覚如上人御廟所
受付: 西山別院南側
(大玄関付近)

お磨き(仏具磨き)のお願い



日時: **4月18日(金)**
9時30分~12時まで
場所: 本堂縁側
受付: 本堂前



当別院開基覚如上人の祥月命日にあたり、本願寺御住職の御代香として西本願寺の式務部侍真が来院し、本堂並びに覚祖廟（覚如上人の御廟所）を参拝されました。

本願寺西山別院開基「覚如上人」 祥月命日 御代香

二月二十三日（日・祝）

【覚如上人】（かくじょうじょうにん）
（一七〇〇～一七五二）

本願寺第三代宗主。西山別院開基。親鸞聖人の曾孫に当られ、親鸞聖人の伝記である「伝絵」（御伝鈔）や、報恩講の由来となった「報恩講私記」など多くの著作を残され、本願寺教団の礎を築かれました。

覚如上人、最晩年に詠まれた和歌

南無阿弥陀 仏力ならぬ
のりぞなき たもつ心も
われとおこさず

従覚上人「善権抄」所収

【現代語訳】

南無阿弥陀仏のみ教えに、阿弥陀仏のはたらきによらないものはありません。たとえ私の（信）心であっても、私が自ら起こしたもではないのです。



お餅もお供えて



阿弥陀さま、親鸞聖人へ新年のご挨拶をいたしました。

がんたんえ 元日会



お正月

令和七年元日七時より正信念仏偈をお勤めし、この新年もお念仏を依り所として生きることを改めて御尊前へ奉告いたしました。



中原輪番の法話



讃仏偈をお勤めいたしました。



感謝を込めて

じよやえ 除夜会



大晦日

令和六年を振り返り、仏祖の恩徳を仰ぐ法要をお勤めいたしました。本堂で読経した後は、中原輪番の一打目に続いて鐘をつきました。

西山別院 フードライブ 活動



私が行って
きました!
おふし
大壮子

「もつたいたい」は？ 「ありがとう」に どうやって 変わるの!?



西山別院で定期的におこなっている「フードライブ活動」。おかげ様でたくさんの方に協力をお願いしております。集まった食材は毎回フードバンク京都さんにお渡ししているのですが、今回は私たちの「もつたいたい」がどのように「ありがとう」に変わっていくのかを知るために活動に参加させて頂きました。



一週間で集まった食材が
積み重ねられています

二月二日、この日の活動は午前
十時から始まりました。
当日はボランティアの方が十
名程、まずは皆で一週間で集まっ
た食材の仕分けです。

全員で
仕分けを
していきます



乾物・缶詰・レトルト食品・イ
ンスタント食品・飲料・お菓子・
ベビーフードや介護食等もあり、
これを種類毎の棚に賞味期限順
に綺麗に並べていきます。

▼お米も量を計って袋詰め



▲賞味期限毎に綺麗に

二時間程で仕分けは終了、午
後からはアソート(渡す食材を
詰める作業)です。

食材はこども食堂や母子生活
支援施設に、定期的に届ける他、
緊急支援があります。

これは区役所や社会福祉協
会等からの「この人に緊急で食
物があるので用意してください。
」という要望で、これが年間
七〇〇件程あるそうです。

緊急支援要望書にある「年齢
や状況、料理が出来るか」とい
う情報をもとに二週間分の食材
を詰めます。

この日は六件の緊急支援の要
望があり、その中の一件は母子
で生活されているご家庭でした。
「お母さんが元気になってくれ
るものを入れたいな」「子ども
が喜んでくれたら
いいね。」と話をし
ながら綺麗に詰め
ていきます。

出来上がったのは
一番上にかわいい
お菓子を詰めた箱。
子どもが開けた時
に「わあ♡」と言っ
てくれるようにと
の配慮だそうです。

かわいい
お菓子を一番上に。
喜んでくれるかな?



綺麗にきっちり▶

こうやって私たちの「もつた
い」は誰かの「ありがとう」に
変わっていくのです。



缶詰・レトルトが
足りません

最後に現在の状況を伺ったと
ころ、物価の上昇に合わせて集ま
る食材が減っているとのこと。特
にガスが使えない状況でも食べ
られるレトルト
食品やたんぱく
質が取れる缶詰
等が不足してい
て、足りない分
はフードバンク
京都で購入をし
てなんとかやりくり
しているとお聞きしました。
今回は一日参加させて頂きま
したが、ボランティアの方々の相
手を思いやる心に、こちらまでホ
カボカとあたたかい気持ちにな
りました。同時にこんなにも食

料を必要としている人がいるこ
と、そしてそれを賄える程の食
材が揃っていない現状に危機感
を覚えました。
私たちにできること、少しでも
させて欲しいと切に感じた一日
でした。

西山別院では今後も継続的に
フードライブ活動を行っていきます。
家に余っている食材はありませんか?
私たちの力で一人でも多くの笑顔を
作っていきましょう。
皆様のご協力をお願いいたします。
令和七年三月十八日〜四月三日で
フードライブ開催中です。

フードバンク京都ではボランティアも
募集しています。
「少しの時間だけ」「日だけ」の参加
でも大丈夫です。
詳しくはフードバンク京都まで
お問合せください。



(お問い合わせ)
認定特定非営利活動法人
フードバンク京都

〒615-8141
京都府京都市西京区
榎原平田町14-31
TEL:080-2741-1646
FAX:075-201-9291
✉1fbkyoto@gmail.com
f1foodbankkyoto
@1fbkyoto



三つの掲示板



西山別院の掲示板は、東門横、南門横、そして川岡踏切前(東側)の計三カ所に設置されています。東門横掲示板には、仏教語四コマまんがや西山幼稚園からのお知らせ、南門横掲示板には、西本願寺(本山)の行事など、川岡踏切前掲示板には、別院職員が毎月ひとつの言葉を選び、その言葉の解説文を掲示しています。

令和六年三月から令和七年二月までの言葉を記載いたします。道行く人が、掲示板の前で立ち止まり、仏典の言葉、親鸞さまの言葉、人生の導きとなるような言葉をじっと見る。忙しい日常にあって、自分の生き方や社会のあり方を見つめ直してみる、そんな大切な時間を提供するきっかけになれば幸いです。

令和6年 3月



令和6年 4月



令和6年 5月

息抜き

令和6年 8月

化力の 回向の 信心

令和6年 6月

かりそめ 日常の まみれの

令和6年 9月

道

令和6年 7月

人生の 予報

令和6年 10月

思ひ道り なる？ なる？ なる？

令和6年 11月

人は 去つても 去らぬ 去らぬ

令和6年 12月

みんな ちがって みんな いい

令和7年 1月

しあわせ 自分のが ころが さる

慈しみ

「今月の法語」は ホームページでも 随時更新しております。 どうぞご覧ください。

西山別院フードドライブのご報告

「もったいない」から 「ありがたい」へ

四回目のフードドライブを開催(令和六年十二月三十一日〜令和七年一月十六日)いたしました。なんと！今回は今までで一番多い32kgの食財が集まりました。ご協力頂きありがとうございました。今回もフードバンク京都へお渡しし、必要とされている方に届けられます。そして、なんと！なんと！今回は新聞の取材とテレビの取材も頂きました。SDGsの輪が少しずつ大きく広がっていますね。これからも西山別院ではフードドライブ活動を継続していきます。





西山幼稚園



最後の仏参



修了証授与



ずっとわすれない♪



おおきくなったよ!



第6年度

西山幼稚園

卒園式



三月十九日(水)西山別院本堂で西山幼稚園の卒園式が行われました。子どもたちは、手にしたお花をお供えし、きれいなお声で最後のお勤め。そのあと、三十七名ひとりひとりが、中原園長から修了証を受け取りました。子どもたちの顔は、ちょっと照れながらも期待と自信がみなぎる笑顔でした。

いつでもどこでも見守ってくれるのさまのことや、たくさんの方があがとうを忘れずに、ほとけの子として元気に成長してほしいと思います。

卒園おめでとう!



茶道体験

一月二十二日(水)に、裏千家の徳田先生のご指導による茶道体験が行われました。

年長組の子どもたちは、四つのグループに分かれて西山別院書院へやってきます。

徳田先生からお茶のお話を聞いた後は、お点前さんとお客さんに分かれてお茶を楽しみました。茶筌を使って上手にお茶を点ててお客さんへ、「ちょうだいします」とお礼を言って、初体験のお薄(抹茶)をいただきました。質問コーナーでは「お茶はどうやってできてくるの?」と緑の粉に興味津々。大きくなって、お茶の文化を大切にしてくださいね。



裏千家の徳田先生よりご指導を頂きました。



感謝の気持ちで頂きます。



お菓子をもぐもぐおいしいね♪



どうぞ!ちょうだいします!



慈しみのお話

vol.1

おはなみだ

文 亀井遊学
絵 大辻子朋音



はるだ おはなみだ。
みんな おはなを みにきてる。
こどもは レジャーシートに
はなびらを あつめてる。
おとうさんは おにぎりを たべすぎて
おかあさんに しかられてる。
おじいちゃんやんは うたたねをして
おばあちゃんは ほほえんでる。
みんな おはなが ちつてしまふ
さびしさを どこかで かんじてる。
みんなの きもちを おはなは しててる。
やさしい かぜが ふいてる。
おはなが ちりだしてる。
おはなが なみだを ながしてる。
はるだ おはなみだ。

✕ インド紀行 佛足に額づいて ⑮

西山別院仏教婦人会員
柳瀬千代子



一九八八(仏歴二五三〇)年一月二十日(二月三日)
仏教の開祖である釈尊が、お生まれになり、悟りを開かれ、法を説かれ、入滅された地インド。
日本人が古より「天竺」と仰いできたインド。かつては遠い遙かな国「天竺」も今では日本
から飛行機で八時間ほど。釈尊の足跡を慕い巡拝された柳瀬千代子さんの紀行文です。

一月二十八日

アショカホテルに着きました。国営の
ホテルであります。

八時半モーニングコール。ゆっくりした
時間なので朝のデリーの町、ホテルの
庭を散歩する。カルカッタでは、とても
散歩することも苦しい様子でありました
が、この町は、美しく掃除されておりま
す。ホテルの庭は広く美しく背の高いコ
コヤシが何本もそびえております。
アグラ城へ。

久しぶりに昨夜はデリーのわが家に帰
られたガイドのシングさん明るい顔で再
び名ガイド振り、インドのジョークを並
べ「さくらさくら」「春がきた」と日本

人の忘れかけた童謡をうたってくれま
す。ホテルをたつて三時間。ムガル帝
国時代のアグラ城がみえてきました。赤
いレンガがみえます。真にお城らしいお
城がみえます。



アショカホテル



ガイドのシングさん



アグラ城の門衛



アグラ城

アグラ城

若き亡き王妃のため
白い大理石の墓(タジマハール)を
22年間一日2万人の力をもって作らせ
ついに傾国
子供によって幽閉されたと言われる城



阿吽(あくん)



梵字…梵語(サンスクリット)を表記するための文字

こんな写真あんな写真

今回も別院職員からの別院あれこれ投稿です



2月18日 雪の舞い散る日ではありましたが、境内で桜の植樹を行いました。

お子ぢぢの桜



穴を掘り、桜の苗を植え、土を優しくふんわりと...



春の訪れ 梅の花が咲きました! 本堂前に咲く梅の花



2月8日 京都市内は積雪5センチで一面銀世界



西山幼稚園正門前の雪だるま

あなたのお便りや写真をお寄せください。

送先 〒615-8107 京都市西京区川島北裏町 29 番地 本願寺西山別院「久遠お便り」係 e-mail : nishiyamabetsuin@msa.biglobe.ne.jp

あなたが体験したうれしかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をどうぞお寄せください。

皆さまからお送り頂いた写真を掲載いたします。ご家族、風景、植物、可愛いペットなど

投稿には、お名前(ニックネーム可)、ご住所、お電話番号をお忘れなく。作品は、必ずご紹介できるとは限りません。また、作品のご返却はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

退職・入所のご挨拶

退職 平林 相信



私事でございますが、三月末日をもちまして西山別院を退職させていただくこととなりました。西山別院並びに西山幼稚園のご縁でお世話になりました皆様に篤く御礼申し上げます。今後は「have to」よりも「want to」、「正しい」よりも「楽しい」を選択して人生を歩んで参りたいと思っております。六年四ヶ月の間、ありがとうございました。

退職 梅谷 提心



わずか二年と短い時間ではありましたが、三月をもちまして退職することとなりました。二年前に十年ぶりに西山別院を訪れた際、得度習礼でのトラウマが蘇り、やっていけないのかと思っておりました。二年間やってこれたのは、ご門徒の皆さんが温かく迎えてくださったおかげです。短い時間ではありましたがお世話になりました。ありがとうございます。

入所 久野 俊英



五年前に西山別院でお世話になっておりました久野俊英と申します。沢山のご縁を賜り、三月十日より改めて奉職させて頂くことになりました。この度のご縁を嬉しく思っております。至らない点もあるかと思いますが、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。